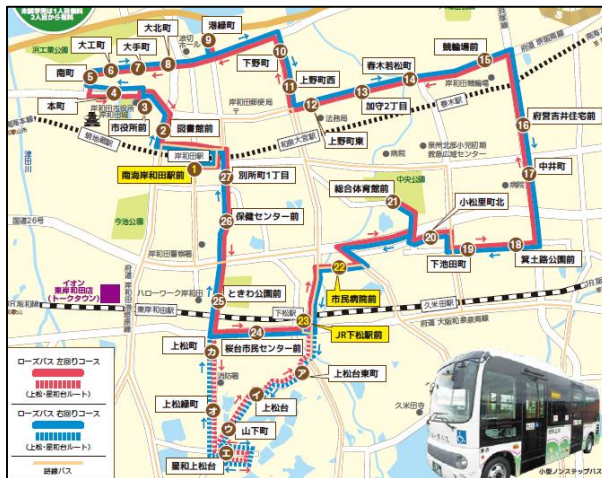


# ローズバスのルート改正に関する経緯と評価①

旧ローズバスルート (両廻り)



旧ローズバスルート (片廻り)



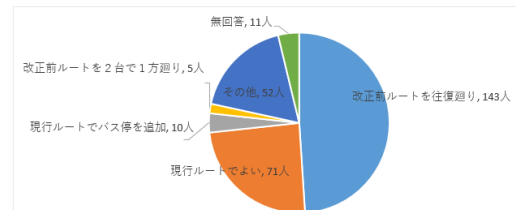
## ルート改正に係る検証 (H31.2.1の改正に係る検証)

平成29年度乗客実績	令和元年度乗客実績
57,948人	30,766人⇒ <b>46.9%減</b>
199人/日	128人/日⇒ <b>35.7%減</b>

### 1) 利便性向上による利用者拡大

①ルートの見直し… (評価: ×)  
約半数の利用者が改正前ルートの両廻りを希望

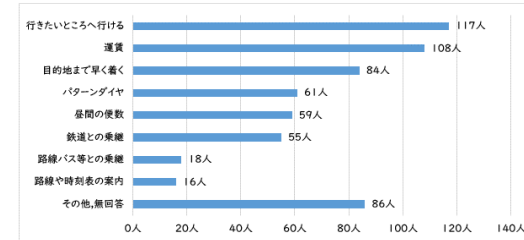
#### 6. ローズバスルートの改正について



※令和2年度利用者アンケート調査 (ニーズの把握) より抜粋

②パターンダイヤによるわかりやすさ… (評価: ○)  
利用者のうちパターンダイヤが大事であるとする利用者が第4位

#### 7. あなたにとってローズバスで大事であると思うもの(3つ以内)



※令和2年度利用者アンケート調査 (ニーズの把握) より抜粋

③バスロケーションシステム導入… (評価: -)

### 2) 運行経費削減

④バス停留所の統廃合… (評価: -)

⑤運行日の見直し… (評価: ○)  
運行日の減少及び運行距離の縮小により経費の削減に寄与  
⇒ H29年度経費: 25,135千円 (車両償却費を除く)  
R1年度経費: 23,041千円 (車両償却費を除く)

### 3) 利用者負担の適正化

⑥乗継割引導入… (評価: -)

⑦運賃改正(100円→170円)… (評価: -)  
(参考) (和泉市コミュバス実績 100→160円(2014年度) 実例)  
運賃変更による乗客逸走率⇒ **-36%**

## H12年度から試験運行開始～ H31.1.31

### 当初の導入理念

- 1) 地域福祉を考慮し、既存路線バスとの整合を図りながら鉄道駅や主要公共施設等を効率的に結び。
- 2) 高齢者・障害者等の交通弱者や路線バス圏外住民の交通利便性の向上を図る

□交通幹線は鉄道と路線バスであり、路線バスのフィーダーとして路線バス圏外について運行を開始。  
□バス2台(予備者1台)にて運用。  
□一周90分(休憩を含む) 左右廻り各6便/日  
□100円均一料金(大人1回あたり)

- ・H12年度から試験運行開始
- ・H15年4月星和上松台まで延伸
- ・H20年4月本格運行開始
- ・H24～25 新ルート(山直北城東地区)で要望を受けて、試験運行実施(2回)目標値を下回り本格運行への移行を断念

### 改正の見出し・ポイント

- 1) 利便性向上による利用者拡大
- 2) 運行費削減
- 3) 利用者負担の適正化

### ■実施内容

- 1) 利便性向上による利用者拡大
  - ①ルートの分割と効率化
    - ・時間短縮(1周60分以内)と便数増(6便/日→8便/日)
  - ②パターンダイヤの導入
    - ・すべての停留所に1時間に必ず1本、岸和田駅前毎時05分発車
  - ③バスロケーションシステム導入
    - ・スマホ等による走行位置リアルタイム表示
- 2) 運行経費削減策
  - ④バス停留所の統廃合
    - ・利用の低いバス停(0.5人/便)の統廃合(ただし、バス停圏域300mは保持する)
  - ⑤運行日の見直し
    - ・月～土 →平日(月～金)運行 に変更(多くの公共交通機関が土休日ダイヤで運行また、土曜日の利用が平日の約8割にとどまることから)
- 3) 利用者負担の適正化
  - ⑥乗継割引導入
    - ・2時間以内の乗り継ぎで大人1人50円(子ども20円)割引
  - ⑦運賃の改正(100円 → 170円)
    - ・路線バス初乗り運賃との整合
    - ・山手地区での地域バスを見据えた公費負担の適正化

# ローズバスのルート改正に関する経緯と評価②

旧ローズバスルート (片廻り)

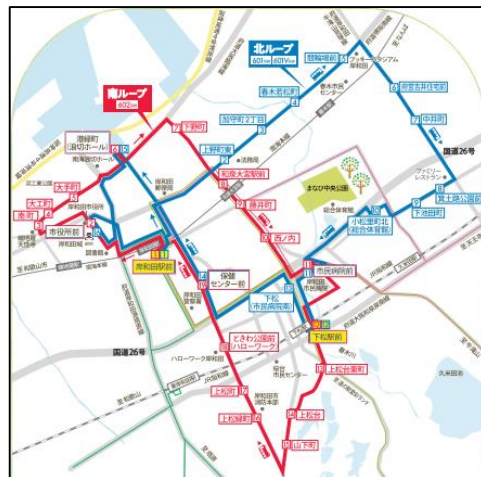


H31.2.1~R3.5.31

改正の見出し・ポイント  
 1) 利便性向上による利用者拡大  
 2) 運行費削減  
 3) 利用者負担の適正化

■実施内容  
 1) 利便性向上による利用者拡大  
 ①ルートの分割と効率化  
 ・時間短縮(1周60分以内)と便数増(6便/日→8便/日)  
 ②パターンダイヤの導入  
 ・すべての停留所に1時間に必ず1本、岸和田駅前毎時05分発車  
 ③バスロケーションシステム導入  
 ・スマホ等による走行位置リアルタイム表示  
 2) 運行経費削減策  
 ④バス停留所の統廃合  
 ・利用の低いバス停(0.5人/便)の統廃合(ただし、バス停留域300mは保持する)  
 ⑤運行日の見直し  
 ・月~土 → 平日(月~金)運行 に変更(多くの公共交通機関が土日ダイヤで運行また、土曜日の利用が平日の約8割にとどまることから)  
 3) 利用者負担の適正化  
 ⑥乗継割引導入  
 ・ローズバスと路線バスを乗継ぎした場合、割引適用  
 ⑦運賃の改正(100円 → 170円)  
 ・路線バス初乗り運賃との整合  
 ・山手地区での地域バスを見据えた公費負担の適正化

現ローズバスルート (片廻り)



R3.6.1~現在

改正の見出し・ポイント  
 1) 利便性向上による利用者拡大

■実施内容  
 1) 利便性向上による利用者拡大  
 ①バス停の追加  
 ・北ループに下松駅前、港緑町、市役所を追加  
 ・南ループに藤井町、西ノ内、保健センター前を追加  
 ②市民病院を目的とする方の徒歩移動の省力化  
 ・下松(市民病院南)から市民病院前に停留所を変更  
 ③保健センターの利便性向上  
 ・保健センターで13時から行われる乳幼児健診等に配慮した12時台の運行  
 ④買物利用者の利便性向上  
 ・買物利用時間帯である9時台から14時台までの利用者に関しては、下松駅でも南北ループの乗り継ぎが可能

## ルート改正に係る検証 (R3.6.1の改正に係る検証)

平成元年度乗客実績	令和4年度乗客実績
30,766人	22,356人 ⇒27.3%減
128人/日	91人/日 ⇒28.9%減

※上記期間は新型コロナウイルス感染症拡大の影響も含まれています。

- 1) 利便性向上による利用者拡大
- ①バス停の追加により利便性向上  
 →北ループの下松駅前、港緑町、市役所を追加… (評価: ○)  
 →南ループの藤井町、西ノ内、保健センター前を追加… (評価: ×)  
 OD調査の結果、利用者が非常に少ない (資料2-4 6.OD調査 青色○)
  - ②市民病院を目的とする方の徒歩移動の省力化… (評価: ○)  
 OD調査の結果、北ループ・南ループ共に利用者数が多い (資料2-4 6.OD調査 緑色○)
  - ③保健センターの利便性向上… (評価: ×)  
 OD調査の結果、北ループ・南ループ共に利用者が非常に少ない (資料2-4 6.OD調査 赤色○)
  - ④買物利用者の利便性向上… (評価: ×)  
 利用者のうち乗車目的を買い物と考える利用者が通院に次いで第2位  
 下松駅で乗り継ぎを行った利用者が少ない (資料2-3 2.乗車目的)



『利用者拡大に向けた、利便性向上を目指す』

**ローズバス乗込み調査**

南海岸和田駅を起終点に市内の公共施設等を結ぶ市内巡回コミュニティバス「ローズバス」をよりたくさんの方に利用してもらえるよう、持続可能で利用者のニーズにあわせたバス交通について検討するため、乗込み調査を行いました。

**調査の概要**

- 1.実施日 令和5年5月25日から令和5年26日まで
- 2.対象便 ローズバス 北ルート/南ルート 1便～6便の全便で実施（計24便）
- 3.有効回答数 133人（北ルート62人・南ルート71人）
- 4.回答数 164人（有効回答数133人 調査済及び回答拒否31人）

**1. 回答者属性**

**お住まい**

市内	市外	無回答
114人	13人	6人
85.7%	9.8%	4.5%

**性別**

男性	女性	不明
40人	87人	6人
30.1%	65.4%	4.5%

**年齢**

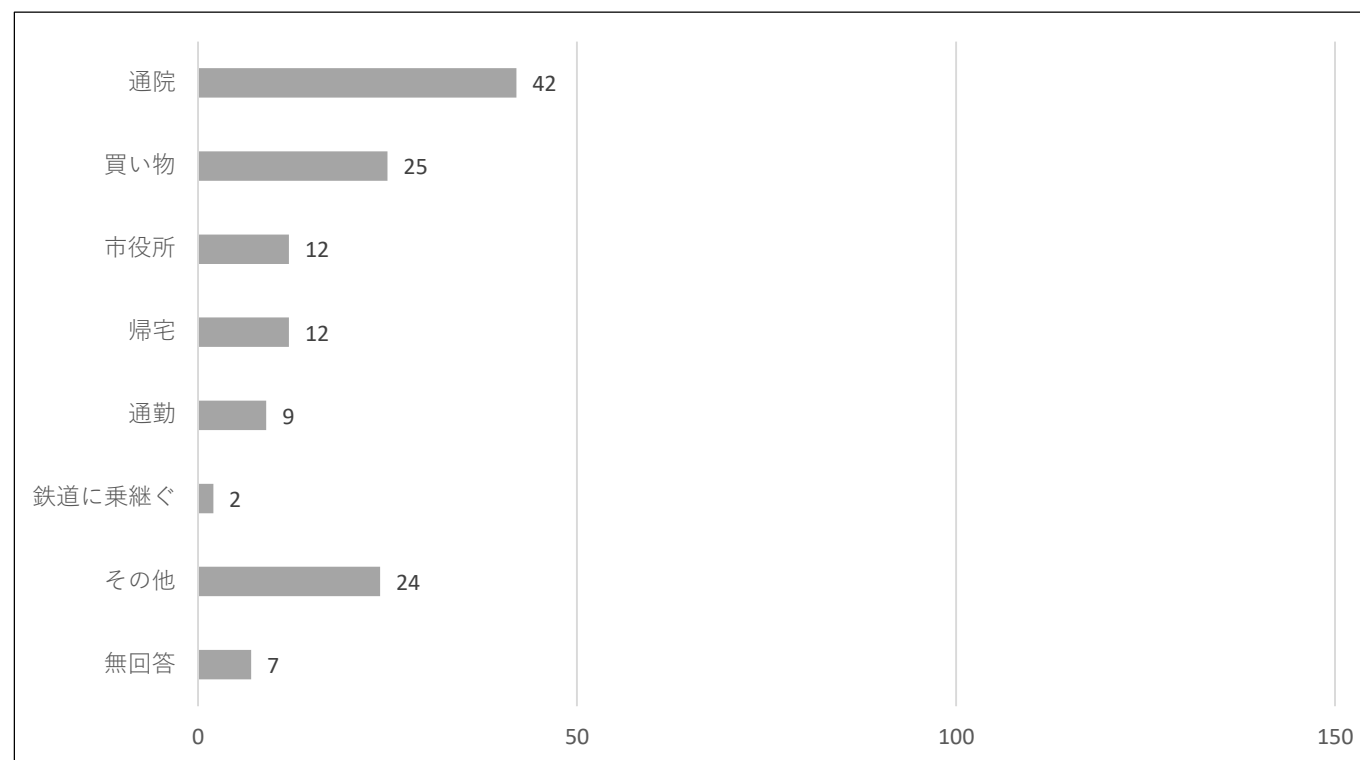
10代未満	10代	20代	30代	40代
1人	3人	8人	6人	2人
0.8%	2.3%	6.0%	4.5%	1.5%

50代	60代	70代	80代	90代	無回答
14人	20人	44人	25人	2人	8人
10.5%	15.0%	33.1%	18.8%	1.5%	6.0%

**特記事項**

車いす	杖	付き添い	その他
1人	6人	0人	0人

**2. 乗車目的**



### 3. 乗車頻度

ほぼ毎日	週に3~4日	週に1~2日	月に1~2日	半年に数日	年に数日	その他	無回答
16人	15人	32人	38人	8人	14人	3人	7人
12.0%	11.3%	24.1%	28.6%	6.0%	10.5%	2.3%	5.3%

### 4-1. 利用方法

片道利用	往復利用	無回答
84人	43人	6人
63.2%	32.3%	4.5%

### 4-2. 片道利用84人のもう片道の移動手段

送り迎え	路線バス	タクシー	電車	徒歩	その他	無回答
4人	13人	18人	12人	17人	15人	5人
4.8%	15.5%	21.4%	14.3%	20.2%	17.9%	6.0%

### 5. 要望

両廻り復活	増便希望	ダイヤ改正希望	土日運行希望	料金減額希望	その他・無回答
23人	10人	11人	4人	3人	82人
17.3%	7.5%	8.3%	3.0%	2.3%	61.7%

### 6. OD調査

降車バス停	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	計	
乗車バス停																		
1 岸和田駅前				1		2		3		1	1					1	9	
2 上野町東										1							1	
3 加守町2丁目																		
4 春木若松町															2		6	
5 競輪場前						1	2		2		3	1					9	
6 府宮吉井住宅前		2									4					3	9	
7 中井町		2									2						4	
8 箕土路公園前		1													1		2	
9 下池田町		1								1						1	4	
10 小松里町北 (総合体育館)		2															2	
11 市民病院前		1												3	1		5	
12 下松駅前		2												2		1	5	
13 下松 (市民病院南)		1															1	
14 保健センター前																	1	
15 港緑町 (浪切ホール)		4						1									5	
16 市役所前																		
計	16			1		3	2	4	2	2	15	1		3	6	7	62	

降車バス停	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計	
乗車バス停																					
1 岸和田駅前																					
2 市役所前																					
3 南町																					
4 大工町																					
5 大手町																					
6 港緑町 (浪切ホール)																					
7 下野町																					
8 和泉大宮駅前																					
9 藤井町																					
10 西ノ内																					
11 市民病院前																					
12 下松駅前																					
13 上松台東町																					
14 上松台																					
15 山下町																					
16 上松緑町																					
17 上松町																					
18 ときわ公園前																					
19 保健センター前																					
計	22	5	1			8	1	6	1	1	8	5			6	2	1	1	2	70	

(無回答者1名)

コミュニティバス「ローズバス」に関するアンケート調査

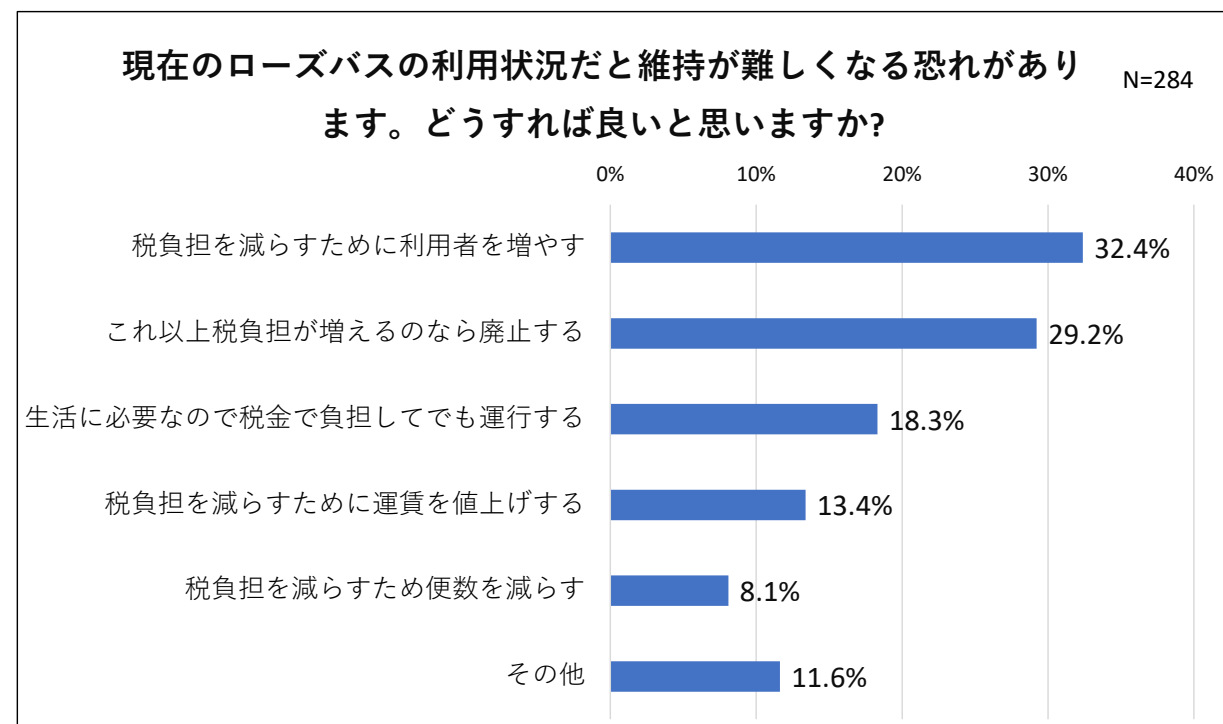
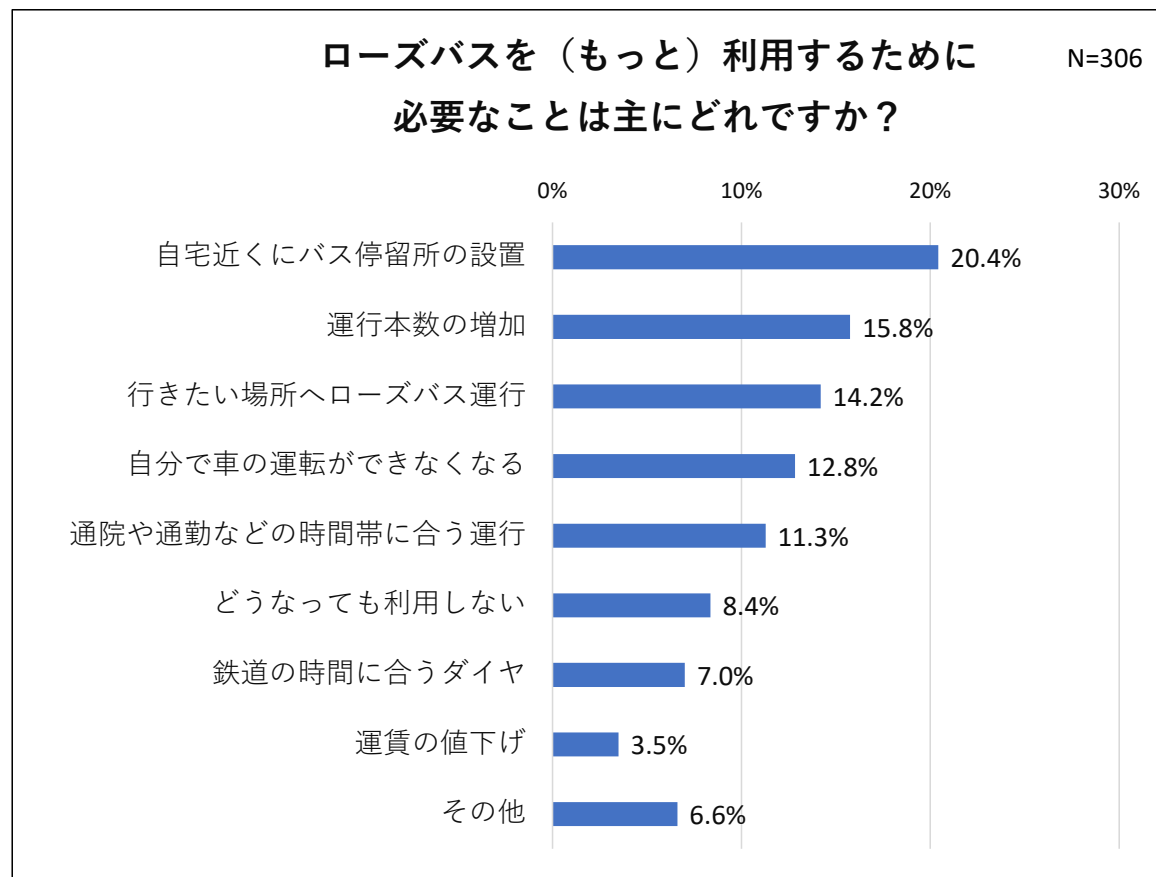
調査の概要

- 1.調査方法 住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- 2.対象者 JR阪和線より海側の町及び上松町在住の15歳以上85歳未満の市民
- 3.調査規模 2,000部
- 4.調査時期 令和5年9月4日～9月30日

南海岸和田駅を起終点に市内の公共施設等を結ぶ市内巡回コミュニティバス「ローズバス」をよりたくさんの方に利用してもらえるよう、持続可能で利用者のニーズにあわせたバス交通について検討するため、市民アンケート調査を行いました。

速報値（100サンプル程度）

■ これからのローズバスの在り方についてお伺いします。



※現在アンケート集計中のため、今回は速報値のみの記載としています。

資料2-6

(当日配布)

ローズバス ルート改正スケジュール (案)																				
	令和5年度							令和6年度												
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
乗込み調査などの各種調査結果とりまとめ 前回の改正後から現在までのローズバスをめぐる状況の変化や課題 ルート・ダイヤの改正の考え方整理																				
各種調査結果の分析 改正に向けたルート・ダイヤ案 バス停の設置などに関する協議																				
地域公共交通協議会での合意を経て正式な法的手続き 各種準備・周知活動																				
ルート改正																				